



# 碧南ロータリークラブ週報

第2889回例会 平成30年11月14日(水)

- 会長 鈴木 健三
- 幹事 角谷 修
- 会場監督(SAA) 栗津 康之

2018-2019 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



インスピレーションになるう

- 会報委員 岡本彰人・鈴木きよみ・小笠原良治・新美真司

## ●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

弘法山 遍照院 住職 横井杲鉛様 (知立RC)  
 西三河分区 I. M 実行委員会 実行委員長 富田清治様 (三河安城RC)  
 " 副実行委員長 成田 徹様 (三河安城RC)

## ●本日の卓上花

バラ (マンゲキョウ)

## 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。本日は先週末に蒲郡で開催されました2018-2019 年度の地区大会の報告を会長挨拶とさせていただきます。

入会以来、初めて2日間連続で地区大会に出席しましたが、2日目の11日(日)には、碧南の多くのメンバーに参加していただきましたので、10日(土)の主な報告をさせていただきます。朝起きると快晴で9時少し前に角谷修幹事と碧南を出発して、10時から始まる本会議から出席致しました。九州から見たというRI会長代理夫婦のご挨拶があり、報告事項に続き地区大会議事と、本会議はタイムスケジュール通りにスムーズに進行して、11時半に閉会しました。次の日の2日目と同じ弁当形式の昼食を取り、12時45分からは場所を大ホールに移して、ここからは青少年奉仕委員会の平松則行先輩と合流しました。3人横並びで青少年学友フォーラムというのに出



鈴木健三会長

席しました。10 数名の交換学生のホームステイ先での苦労話、この体験をこれからどのように活かしていくかの話は、今時の若者らしくウィットに富み、3 人とも寝ることもなく大変楽しく聞かせていただきました。ネットで拾ってきた借り物の話などは一切なく、正に本人が感じた実体験に基づく話ばかりでしたので、大変眩しくて面白く、「若いというのは何をやっても良いんだよな。」と強く感じました。

今朝もまた一段と肌寒くなりました。交換学生の若者に負けないように本日の例会もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 5 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 他クラブの例会変更につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 本日、IM の登録用紙を入れさせていただきました。12 月 12 日までにご登録をよろしくお願い致します。
- ・ 11 月 28 日に第 11 回の 60 周年記念正副委員長会議がございますので、よろしくお願い致します。



角谷 修幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 72 名 (内出席免除者 19 名の内出席者 10 名) 出席者 60 名	
出席対象者 60 / 63 名	出席率 95.24%
欠席者 12 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

三河安城 R C 西三河分区 I . M 実行委員会 実行委員長 富田清治様、副実行委員長 成田徹様

本日は、西三河分区の I . M を P R させて頂きにまいりました。多くのご参加お願い致します。

鈴木 健三君  
角谷 修君  
新美 宗和君  
加藤 良邦君

先日の地区大会に皆様の参加、ありがとうございました。

I . M 実行委員長の富田清治さん、西三河 I . M の P R ご苦労様です。

11 月 3 日秋季毘沙門天大祭、お陰様にて天候に恵まれ無事に終える事が出来ました。お世話になりました。皆様に深く感謝申し上げます。

- 黒田 昌司君 若さ検証旅行に行ってまいりました。7名の同行者（氏名不公表）の方々に感謝。まだまだ若い。
- 栗津 康之君 息子が結婚式を挙げました。
- 大竹 密貴君 本日の卓話の講師、横井杲鉛様を紹介させていただきます。横井様どうぞよろしくお願ひ致します。
- 杉浦 秀延君 本日の講師、弘法山 遍照院 住職 横井杲鉛様をご紹介します。
- 石井 和哉君 地区大会参加しました。記念にロータリーバッジを買いました。角谷修様、アドバイスありがとうございました。

## 卓 話

### 「現代の信仰（仏教徒）」

弘法山 遍照院 住職 横井杲鉛様



横井杲鉛様

ご紹介を賜りました知立 RC の横井と申します。知立が発足する 20 数年前にこちらにお邪魔して、「ご支援、ご協力ください。」とお願いに参った記憶があります。こちらに平岩さんという大先輩がおられて、私はその平岩さんに色々ご指導をいただいたことがありました。平岩さんは熱心な仏教徒であられましたので、真言宗の総本山であります高野山に平岩さんご夫婦と 2 回ご一緒させていただきました。

ヨーロッパやアメリカの方々は、日本人は神様も仏様も一緒に信じている。ということがわからないようです。彼らはありとあらゆるものをつくり出す万物の創造主を神（ゴッド）としています。地球のはじめはカオスと言いまして、暗いのか明るいのかよくわからない混沌の時代があって、天地創造の神が「光あれ」と言われ、昼間ができました。少し休みたいと思えば夜になるということで、昼も夜も青い空も赤い花も全部、人間も含めて創造主がつくりました。それが基本のイエスの教えで、信じない者は救われないとはっきり言っております。信じる者は救われる、信じない者は異端者。異端者という言葉は戦争の始まりです。異端な教えを文明の度合いによって押し広めてきました。一見、一神教の方々は博愛主義を声高におっしゃいますが、これは信じた人にだけ博愛して信じない人は異端者だから潰しても良いという考え方です。この差を日本の人はなかなかよくわからない。神様に頼めば何でもしてくれるような気がしてしまう。仏教はそういう神話もないところから出発しております。仏教の教えは因果律、因縁将棋説というのが基本であります。因縁将棋は間違ったロジックでは結果が間違ふ。正しくなければ正しい教えは導かれぬ。これが戦争を回避するために大きな力になる。2600 年前のインドは 56 の国が乱立しており、争いが絶えませんでした。ずっと原因を追っていくと、どうも信じる神が違ふということに気付き、真理の積み重ねだけで話を進めたらどうなのか。そうすればお互いにあるべき姿、進むべき道というのが自ずと見えてくる。足りない所は皆で力を合わせて考えていく。天から啓示されるものではない。神の教えに反する者は異端者。これは仏教用語にはありません。仏教はどこまでも慈

悲の光で包んでいく。足りない所はお互いに補い合って完成された人格者を目指す努力をしよう。自己実現のために自己の主情を人に言われなくても気が付いたことをやっつけていこう。しかもそれに罰則はない。やれるだけのことを毎日積み上げていきましょう。この教えでアジアの人はどれほど救われたかわかりません。宗教上の争いは少なくともアジア大陸、日本を含めてありません。

一方、異端者や絶対者が存在する国は、異端な国ができると潰しにかかります。宗教戦争というのは、人間の歴史が始まって以来、南アフリカで種の起源ができてからアフリカ大陸をチンパンジーから段々と類人猿が人間に近づいて、エジプト辺りでほぼ人間としての完成された生き物が文明を持つようになりました。そこから、東へ行ったのがヨーロッパ人、アジア大陸を目指したのがアジア人、その最果てが日本国です。ヨーロッパの方へ行った人は合理的な考えを持ち、それはそれなりに素晴らしい文明が発達しました。しかし、根底には異端者という存在を常に置いてきました。異端者は切り捨てても良い、人間に優劣をつけるという考えが最大の欠点で、ヨーロッパでも反省の機運の上に成り立って今日に至っております。

この先、我々の次の世代、さらに次の世代にどういう社会を残すと我々は安心してあの世にいけるか。環境ぐらひは我々が責任を持って整えてバトンタッチをする。それは私たち現代の人間に与えられた大きな責任だと思えます。人間ほど多くの動植物の命を犠牲にして自分の体を保つ生き物はないんです。そのこと1つだけでも我々は日々反省して、与えられた環境に感謝をしながら、明日の日本は子供たちに託して良いのか、託せるような日本を今我々は築いているのか、そういうことを私は皆さん方をお願いしたいし、地域社会のリーダーとして1人でも多くの方が安全な環境になるような方針で後輩を育てて、指導していただけると誠にありがたいというふうに思います。亡くなられました昭和天皇様は、本当にそういうことを心配しておられました。昭和天皇に仕えた何人かの先生方は、本当にご苦労されましたが、「平成の世ができて安心した。」とおっしゃいました。そういう日本のあるべき姿を探求した人が今でもいる、そしていたんです。私たちもその後を付いていけるようにさらに暮らしやすい環境を整え、やがて日本国の素晴らしい精神生活が世界に本当に理解され、評価されると思っております。

お時間が参りました。中途半端で取り留めのない話でしたが、静かに聞いてくださって誠に恐縮でした。ありがとうございました。

## 次回例会案内

平成30年12月5日（水） 年次総会 次年度理事役員選挙